

歯周病リスク郵送検査のご案内

検査費用
無料!

自宅のできる郵送式検査です。
お申込の方へは、自宅に検査器具が届きます。
全身疾患と関連が深い「歯周病」のリスクを調べます。



申込締切日:

2027年1月29日(金) 先着500人 お早めにお申込みください。

対象者: **被保険者(本人)のみ**

検査費用: 全額健康保険組合が負担します。

申込方法: 右記二次元コード又は下記アドレスよりお申込ください。

<https://f.msgs.jp/n/form/taq/psfkbTkahvWQwGkfwyfc2>

お申込みはこちら



器具の送付: 説明書をよく読んで、問診票と採取した器具を同封の封筒に入れて返送してください。(切手不要)

検診の結果は、検体到着後約2週間でご自宅へ送付されます。

検体締切日: 2027年2月26日(金)

検査機関: メスプ細胞検査研究所(京都府登録衛生検査所第38号)

京都市中京区高倉通二条下ル瓦町550 メスプビル内

TEL: (075) 231-2230 (平日 10:00~16:00)

<個人情報の取扱い>

受診する方の個人情報は、本検診を提供する目的に限り利用します。また、受診する方の個人情報を事前の承諾等を得ず、第三者に提供・開示することはありません。なお、当健康保険組合は検査機関より受診者の検査結果について一括して報告を受け、疾病予防に利用させていただきます。



検査は簡単!
自宅で唾液を採取して送るだけ!
検査結果も自宅に届きます。



唾液中の(血液反応)ヘモグロビンを測定し、歯周病のリスクをabcで判定します。

判定	a 異常なし	b 要指導	c 要精査	単位
Hb測定値	0 ~ 1.99	2.00 ~ 4.19	4.20 ~	µg/mL

~検査方法~

①ガムを噛みます。



②口内にたまった唾液をカップに入れます。



③採取した唾液をスポイトで吸い上げ、唾液採取容器に入れます。



※より詳細な採取方法や手順については、検査キットに同封しておりますのでご安心ください!

歯周病チェック!!ひとつでもチェックが入った方は、この機会にぜひご受診ください。

- 歯を磨くと血が出る
- 歯と歯の間に物が挟まりやすくなった
- 口臭がするようになった
- 喫煙者である(あった)
- 起床時に口の中がネバネバする
- 糖尿病、または糖尿病予備軍
- 何年も歯科検診を受けていない

歯周病は万病のもと

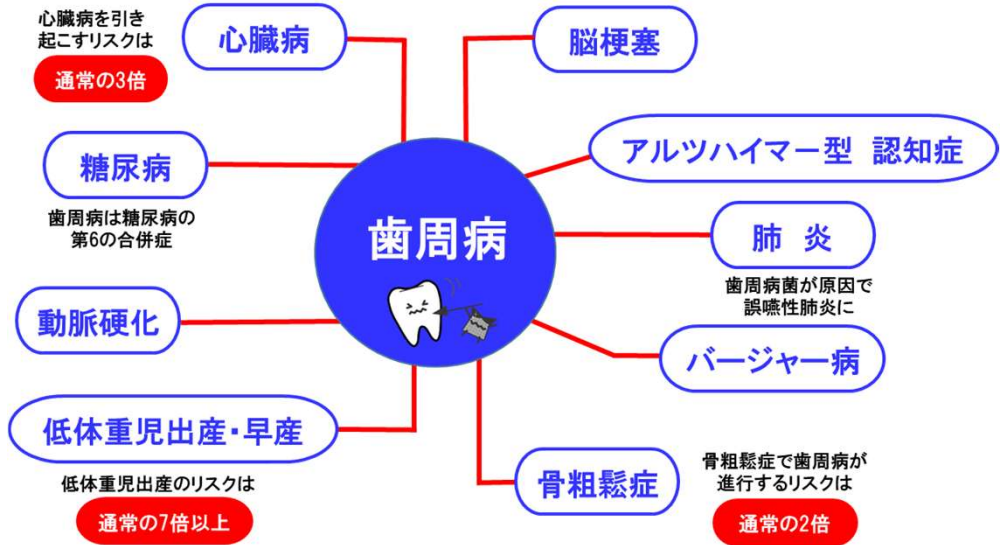
感染症予防のためにも
口腔ケアを！



なぜ、いま歯周病リスクが重要視されるのか？

歯周病は様々な病気を引き起こします。

歯周病はせいぜい歯茎から血が出る程度の、軽い病気と思いませんか？
口内環境と全身の健康は密接に関連しています。
歯周病菌が作る毒素が血液中に入ること、様々な病気をひきおこしたり、悪化させたりします。
歯周病を予防することで様々な疾病のリスクを抑制することができるのです。



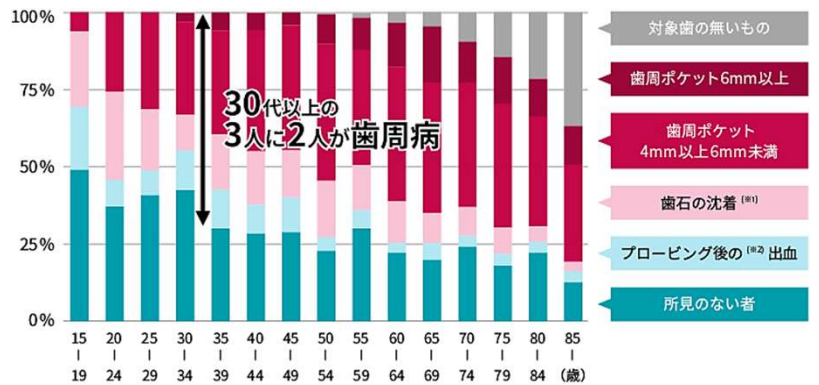
歯周病は国民病

歯周病は、世界一感染者の多い感染症と言われ、日本でも、35歳以上の約8割が罹患しています。

歯周病は決して中高年や高齢者の病気ではなく、若いうちからどのように対策をしていくかが非常に重要になります。歯周病は「沈黙の病気」と呼ばれ、自覚症状に乏しい病気です。そのため、歯茎が痛い・歯がグラグラする、といった自覚症状を感じてから治療を受けても手遅れになることが珍しくありません。

歯内の所見の有無 (15歳以上・永久歯、歯周組織に所見ある場合を歯周病とする)

「平成23年歯科疾患実態調査(厚生労働省)」より



※1) 歯石の沈着の項には、歯周ポケットが4mm以上の者は含まない。
※2) プロービング：歯周ポケットの深さを専用の器具で測ること。

出血で歯周病が悪化！？

歯磨きをしているときや、何もしていない時でも歯茎から血が出ることはありませんか？

歯周病菌は赤血球ヘモグロビンの“ヘミン鉄”が大好きです。鉄分を得て歯周病菌は爆発的に増殖します。

歯茎からの出血は要注意なのです！！

歯周病菌には赤血球ヘモグロビンのヘミン鉄が必須栄養素

出血するとヘミン鉄の周囲で歯周病菌が増殖

歯周病が発症・悪化する

出血！出血！
大好物のヘミン鉄だ！



【注意事項】
・郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。
・郵送検診はスクリーニング検診(一次検診)であり、検診結果は病名を診断するものではありません。「要指導、要精査」の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。
・郵送検診の検査結果のみで病名を判断できるものではありません。「異常なし」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。